

香川県における風疹H I 抗体の保有状況

山本 忠雄・山西 重機・岡崎 秀信

I はじめに

昭和51年から52年にかけて風疹の大流行があり、その後、しばらくかげをひそめていたが、昭和56年春頃より再び流行しはじめている。高松小児感染症談話会の13定点からの患者発生報告によると、表1のとおり6月をピークに、3月から8月にかけて患者の発生が多かった。

一般住民から風疹H I 抗体価測定依頼検査が当所に相当あった。このうち年令の判明している215名について、年代層別のH I 抗体保有状況についてまとめた。又この流行を機会にワクチン接種年代層とワクチン非接種年代層のH I 抗体保有状況についても比較調査を行ったので報告する。

表1 風疹患者の月別発生報告数 (高松小児感染症談話会, 13定点)

年	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
54		2	1	6	3	5	2	0	0	0	1	1	1	22
55		0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	1	5
56		1	5	15	51	91	178	78	17	9	4	19	85	553
57		156	338	1,015	930	647	254	91						

II 材料および方法

一般住民からの依頼検査については、昭和56年5月から8月までの間に採血した血清を、又ワクチン接種年代層とワクチン非接種年代層のH I 抗体保有状況を調査するためのK看護専門学校並びにT高等学校の生徒については、昭和56年6月から7月までの間に採血した血清をそれぞれ検査材料とした。

検査方法は厚生省が「伝染病流行予測調査検査術式」^{D)}に示す方法に準拠した。

III 調査成績

1. 依頼検査として取扱った一般住民のH I 抗体保有状況は、21才～25才までの層は61.6%、26才～30才は71.7%、そして31才～35才では86.2%であった。

2. 15才～22才までの年令層における、ワクチン接種年代層(15才～19才)とワクチン非接種年代層(19才～22才)のH I 抗体保有状況の比較では、前者が96.0%、後者が52.1%であった。

3. ワクチン接種年代層のH I 抗体価のピークは64倍

表2 風疹ワクチン接種年代層と非接種年代層のH I 抗体保有状況の比較

対象		抗体価									計	陽性率	平均陽性率
		<8	8	16	32	64	128	256	512				
ワクチン接種年代層(女子)	K 看護専1年(18~19才)	2		7	10	15	5	3		42	40/42 = 95.2%	96.0%	
	T 高校1年(15~16才)	2		2	3	14	14	5		40	38/40 = 95.0%		
	" 2年(16~17才)	1	2		4	12	12	5	2	38	37/38 = 97.4%		
	" 3年(17~18才)	2	1	3	6	13	5	8	1	39	37/39 = 94.9%		
	" 専攻科(18~19才)	1	1	3	11	8	15	2		41	40/41 = 97.6%		
	計	8	4	15	34	62	51	23	3	200	192/200 = 96.0%		
率		4.0	2.0	7.5	17.0	31.0	25.5	11.5	1.5	100			
ワクチン非接種年代層(女子)	K 看護専2年(19~20才)	21			1	9	7	3		41	20/41 = 48.8%	52.1%	
	" 3年(20~21才)	20			5	7	9	1		42	22/42 = 52.4%		
	" 公助科(21~22才)	10			3	3	4	1		21	11/21 = 52.4%		
	T 高校専攻科2年(19~20才)	18			1	11	7	2	1	40	22/40 = 55.0%		
	計	69			10	30	27	7	1	144	75/144 = 52.1%		
率		47.9			6.9	20.8	18.8	4.9	0.7	100			

対 象		抗体価									陽 性 率	平均陽性率
		<8	8	16	32	64	128	256	512	計		
一 般 女 子	21 ~ 25 才	28			8	6	11	17	3	73	45/73 =61.6%	70.2%
	26 ~ 30 才	32	2	16	22	14	14	11	2	113	81/113=71.7%	
	31 ~ 35 才	4	4	2	5	8	5		1	29	25/29 =86.2%	
	計 率	64	6	18	35	28	30	28	6	215	151/215=70.2%	
男 子	T 高校 2・3 年 (16~18才)	19			1	7	8	5	1	41	22/41 =53.7%	53.7%
	率	46.4			2.4	17.1	19.5	12.2	2.4	100		

が31.0%で最高であった。又ワクチン非接種年代層では陰性（8倍未満）が47.9%で最高であり、H I 抗体保有者のピークは64倍で20.8%であった。

4. 性別によるH I 抗体保有状況の比較では、男子（16才~18才）が53.7%、ワクチン非接種の女子（19才~22才）が52.1%であった。

とおり、年代層が進むのに従って上昇する傾向があった。

2. ワクチン接種年代層（15才~19才）のH I 抗体保有率の96.0%は、ワクチン非接種年代層（19才~22才）のH I 抗体保有率の52.1%をはるかにうまわっていた。

3. ワクチン非接種者における性別によるH I 抗体保有率の差は認められなかった。

Ⅳ 結 論

1. 一般住民の年代層別H I 抗体の保有状況は表2の

文 献

1) 厚生省公衆衛生局保健情報課：伝染病流行予測調査検査術式，74~85 1978